

悠久のシンフォニー

写真／上野滋数 解説／市川健夫

写真集

善光寺の四季

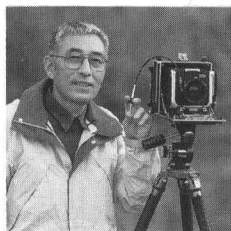


Zenkoji * Four Seasons

花が、空が、風が奏でる季節の詩

協力 善光寺

美しき善光寺・再発見



* 著者プロフィール

上 野 滋 数 (うえの・しげかず)

1938年、長野市に生まれる

1957年、長野郵便局に奉職

1966年、日報連長野支部に加入し写真撮影を開始する

1981年、第30回国立公園写真コンテストで特選

1982年、くつろぎ能登賀コンテストで石川県知事賞

“旅” ねぶた祭り 8月号入選

1983年、“旅” 揚ヶ浜塩田 8月号入選

1988年、飛天隊カメラマンとして毎年県内各地区にて写真展。現在に至る

最近作 絵葉書「揚ヶ浜塩田」「高原の花季」「谷の都」など

現在 日本報道写真連盟会員、エージェンシーカメラマン

住所 長野県上水内郡戸隠村豊岡2775-3 (〒381-41)

TEL. 026-254-3788

FAX. 026-254-3788

写真集・善光寺の四季 悠久のシンフォニー

1997年4月6日初版発行

定価はカバーに明記してあります。

著 者 上 野 滋 数

発行人 高 橋 将 人

発 行 株式会社 郷土出版社

長野県松本市芳川小屋594-45 (〒399)

電話 (0263) 86-8601 (代)

〈長野・新潟・岐阜・名古屋〉

印 刷 株式会社 太 洋 社

製 本 株式会社 渋谷文泉閣

■ 禁無断転載

本書の記事及び図版の無断転載・複写を禁じます。

ISBN4-87663-361-4 落丁本・乱丁本はお取り替えます。

© Shigekazu Ueno 1997, Printed in Japan

悠久のシンフォニー

写真集 善光寺の四季

写真／上野滋数 解説／市川健夫

江苏工业学院图书馆
藏书章

郷土出版社

目 次

はじめに 1

春 *Spring*

- モクレンがいち早く春の訪れを告げる 6
ロトウザクラの枝越しに本堂を望む 8
善光寺地震で曲がった本堂東側の柱 10
色とりどりのサクラに彩られた忠霊殿 11
満開のサクラと鐘楼 12
鮮やかなツツジが咲き本堂周辺が華やぐ 14
山門楼上より仲見世を望む 15
“鳩字”で知られる山門の掲額 16
本堂内陣左手の弥勒菩薩 18
本堂内陣右手の地藏菩薩 19
新緑との対照が美しい雲上殿 20

夏 *Summer*

- 本堂の檜皮葺き屋根を縁どるネムノキ 22
初夏の陽射しが降り注ぐ本堂裏 24
放生池のハス越しに山門を望む 25
梅雨の晴れ間のアジサイ 26
雨に濡れた石畳が風情を醸し出す 27
薄闇の中で提灯の明かりが潤みをます 28
厳かな時間が流れる内陣 30
常法燈がきらめく内々陣 32
本堂にハギの花の簾がかかる 34

秋
Autumn

- 参詣客で賑わう秋の本堂 36
中秋の月に照らし出される本堂の鐘 38
くれないに燃えるカエデの葉 39
黄金色にきらめくイチョウと山門 40
穏やかな秋の陽射しに似合う六地藏 42
「日本の音百選」に選ばれた“善光寺さんの鐘” 44
頭上の組物が美しい本堂西口濡れ縁 45
3世紀の風雪に耐えてきた本堂正面の柱と覆輪 46
年間660万人の参詣客を迎える向拝の木階段 48
本堂縁下の木組と亀腹 49
香炉と定紋・立葵の賽銭箱 50

冬
Winter

- 紅葉したカエデに降り積もった初雪 52
山門も放生池も冬景色 54
雪の静寂に包まれる本堂と大香炉 56
冬晴れの空にそそり立つ鐘楼 58
本堂西側にある鐘 59
善光寺地震で落下した鐘の跡 59
雪に覆われた経堂と絵馬 60
雪化粧した六地藏と濡仏 62

行事 *Event*

- 初詣で客で賑わう本堂前庭 64
内々陣での朝拝式 66
読経の声は響く 67
善光寺木遣り 68
びんずる廻し 69
節分会に向かう大本願上人 70
節分会に向かう大勧進貫主 71
節分会での善光寺木遣り 72
節分会の豆まき 72
お数珠頂戴（大勧進貫主） 73
お数珠頂戴（大本願上人） 73
御開帳・天台宗中日庭儀大法要 74
御開帳・浄土宗中日庭儀大法要 75

◆解説

善光寺と門前町の歴史 ……市川健夫 77

- ◆イラストマップ 四季の風情を味わう 83
善光寺花ごよみ 84

あとがき 85

装丁／勝野香代子

春



モクレンがいち早く春の訪れ
を告げる





ロトウザクラの枝越しに本堂を望む







善光寺地震で曲がった本堂東側の柱



色とりどりのサクラに彩られた忠霊殿



満開のサクラと鐘楼







原书缺页